

# 日本マンガの国際的受容に関する予備調査： 翻訳版の書誌学的な調査項目の検討

大谷康晴（日本女子大学）\*  
安形輝（亜細亜大学）

安形麻理（慶應義塾大学）  
杉江典子（東洋大学）

橋詰秋子（慶應義塾大学大学院）  
江藤正己（学習院女子大学）

\*ootaniy@fc.jwu.ac.jp

## 1. はじめに

発表者たちは、各国の図書館における所蔵を手掛かりに日本文化としてのマンガの受容に関する共同研究を進めている。基本的には、日本語版・翻訳版双方を含む包括的なマンガリストを作成した上で各国の図書館を対象とした所蔵調査を行い、その結果を分析するものである。とはいえ、所蔵データが持つ意味を理解するためには、各国で刊行される物理的実体としてのマンガの特徴を把握する必要がある。

松井剛によるとアメリカにおける日本のマンガの需要は、個人的な関心に基づく刊行から、商業出版社による刊行、日本マンガの形態そのままで刊行という流れになっている<sup>3)</sup>。つまり、当初は現地の出版流通に従うように手直し（完全なペーパーバック形態、本の開きを合わせるための左右反転印刷）されながら受け入れられていく。そして、マンガ固有の市場が成り立つと次第に日本のマンガに近い形態での刊行も試行されるようになる。

このような経緯の一つの例として松井は、authentic manga が強く求められる時期（2002年くらい）以前の作品である『新世紀エヴァンゲリオン』の例を紹介している。この作品は1998年に作者から要求に応じて右開きと左開き双方で刊行したものの、左開きの方が売れていた<sup>4)</sup>。

アメリカの事例が世界のすべてにそのまま適用されるのかは疑問である。しかし、日本のマンガが受容される時に状況に応じて形態にも特徴が表れることは予想できるだろう。しかし、現在の書誌データは、書誌同定という意味では十分であるが、書誌学的な検討に対してまで必要十分な情報を提供するものではない。そもそも、世界各国でどのような形態で刊行されているのかが不明な状態では注意すべきポイントも分からない。

そこで、世界各国で出版された海外版日本マンガについて多言語かつ一定のタイトル数を対象とする予備的調査を行うことにした。具体的には、各タイトルについて形状や作品以外の要素、翻訳資料としての処理といった要素について調査項目を用意し、その妥当性の検討を行った。

調査対象としては、京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム (Kyoto

International Manga Museum) のマンガ万博 (Manga Expo)<sup>5)</sup>と呼ばれる日本マンガの翻訳版のコレクションとした。このコレクションは、北米を中心に日本のマンガ、アニメの翻訳出版や映像販売を展開している VIZ Media 社からの寄贈が多い。同社は、集英社、小学館、小学館集英社プロダクション 3社が2005年に共同出資して設立した会社<sup>6)</sup>であるため、コレクションはいわゆる一ツ橋グループの作品に集中する傾向にある。このような問題点はあるものの、多くの言語にわたり一定規模所蔵しているコレクションがわが国にはほとんどないため、調査対象として選定した。

## 2. 調査概要

京都国際マンガミュージアムにおいて、同館所蔵の資料のうち日本語以外の20言語で単巻もしくはシリーズの1冊（原則として第1巻）について156タイトル（延べ数）を調査した。これは、同一シリーズの場合、基本的には同じフォーマットで用意されることが想定されるので、偏った集計結果になる可能性が想定されるためである。これ以外に2タイトルを事前に入手していたため、計158タイトルが調査対象タイトル数になる。

中心となる156タイトルの調査は2019年8月25日から27日にかけて京都国際マンガミュージアム研究閲覧室にて行った。あらかじめ用意した調査項目についてフォームを作成し、データ入力を行った。なお、京都国際マンガミュージアムからマンガ万博の所蔵リストデータを提供されていた。このため、作業中はこのリストの記述を随時参照している。

8月25日の入力後、調査参加者全員で改めて検討を行い、入力作業の効率化と適正化を図るための修正を行った。その後は特に項目の修正を行うことなく調査期間中のデータの入力を行った（8月25日作業分については、遡及して修正）。

作業に関しては、京都国際マンガミュージアム、同研究閲覧室の開館・開室時間に合わせて行っていたが、様々な都合上全ての入力者が作業に専従できたわけではない。いずれにしても、入力に際しては、詳細な項目になっているため、1タイトル当たりの入力時間はかなりのものとなっている。

表1 作業プロフィール

作業日	作業時間 (時間)	入力人数 (人)	入力件数	備考
調査期間外	-	1	2	調査項目作成のための試行
8月25日	3.5	3	11	
8月26日	6.0	5	105	昼食時間含(入力者各自取得)
8月27日	4.0	4	40	

入力対象は英語以外の言語を優先して進めた。結果として表2の通りになっている。入力作業に時間がかかったのは言語への対応も一因である。

表2 調査対象の言語別集計

言語	対象件数	言語	対象件数
イタリア語	35	ポルトガル語	6
中国語	33	ロシア語	4
ドイツ語	12	オランダ語	3
インドネシア語	10	デンマーク語	2
フィンランド語	10	ハンガリー語	2
スウェーデン語	9	カタルーニャ語	1
ベトナム語	7	タイ語	1
ポーランド語	7	トルコ語	1
英語	7	ノルウェー語	1
スペイン語	6	韓国語	1
		合計	158

\*中国語は繁体字・簡体字含む

京都国際マンガミュージアムは図書館というよりは博物館的観点からのメタデータ作成を行っており、ISBNがないマンガについて商品コード等のIDをISBN欄に入力している事例があったり、あるいは、もともと古い出版年や雑誌扱いのマンガにはISBNが付与されていない等の理由から、ISBNからAmazon等の外部のメタデータを活用できるマンガは1/5程度と少なく、今回は外部のメタデータは分析には用いていない。

### 3. 調査項目

確定した調査項目は表3(末尾参照)の通りになる。ここではいくつかの項目とその特徴を説明する。

そもその前提として、マンガは通常の書物として扱われないことも多く、しかもその扱いが各国によってかなり異なっている。同時に、日本のマンガがかなり海外にも定着した結果、一つの作品としてきちんとした扱いを受ける場合も生じている。このような事情により、形状やテキスト以外の内容についてさまざまな様相を呈している。

まず、読み方のガイダンスとは、マンガの読み方を提示している説明の有無について調べている。

日本の右開きのマンガがそのまま刊行された場合、どの順番で読んでいけばよいか分からない読者が存在する。このため、マンガの末尾の方(左開きの本では冒頭部分)に図1のように、コンテンツの末尾であることを示しつつページ内の表示の順番を提示している。なお、図1のコマAにあるように、吹き出しの順番も日本語版と全く同じであるため、吹き出し単位では右から左に移動するのに、各吹き出しの内部は左から右に読んでいくというかなり複雑な読みを強いられることになる。また、図1は抽象的な形で説明しているが、作品中の任意のページを例に紹介している場合もある。

一部のマンガでは背表紙を表表紙と同様の図としていた。これは、書架での面だしをしたさいに、左開き、右開きのどちらであっても表紙が表にでるような工夫がされている製本といえる。

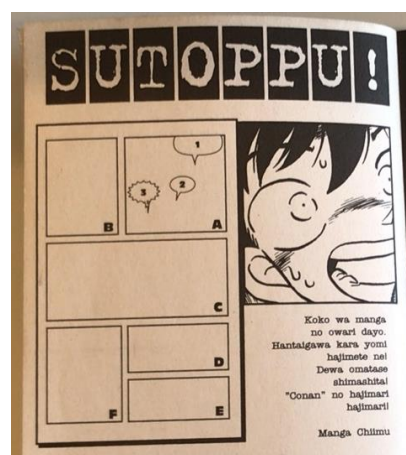


図1 マンガの読み方の提示の一例

(『名探偵コナン』2004年スウェーデン語版。京都精華大学国際マンガ研究センター/京都国際マンガミュージアム所蔵)

オノマトペやそれ以外の作中の吹き出し部分以外の処理についても、確認を行っている。デジタル原稿を使用している場合や、アナログ原稿でも他の背景にかかっていない場合には翻訳語の表現を掲載できるが、難しい場合もあるときには、ルビで対応したり、日本語のままでも対応したりすることがある(図2。次項参照)。オノマトペや作中の日本語に対する脚注での対応も多くみられた。

また、作品に対する注釈や解説といった要素も異なる。図3(次項参照)は、「Samurai Deeper KYOとその歴史的背景」とでも題すべき、作品の時代設定(江戸時代初期)に関する解説であるが、これは『Samurai Deeper KYO』スペイン語版にみられる解説であり、少なくともスウェーデン語版には見られない。作品への敬意が伺える要素であ

るが一律でない対応であることも分かる。



図2 オノマトペ等の処理

『Samurai Deeper KYO』2005年スウェーデン版。京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム所蔵



図3 外国人による作品解説の例

『Samurai Deeper KYO』2004年スペイン語版。京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム所蔵

一方で、海外でもマンガが雑誌扱いされている要素もある。コンテンツ末尾の方に読者からの投稿コーナーがあるタイトルもあった。さらに、雑誌扱いの場合、単話や元の単行本の話数よりも減らした形で収録されることが多く、日本の単行本と1対1対応しないことも多い。

レイティングに関してはアメリカのものは厳しく設定されていたが、それ以外の国、例えば、イタリアでは設定はされているが、作品により設定の厳しさはかなり幅があるものがあつた。

2点を除く156点がソフトカバーであった。いずれかの時点で廃棄された可能性は否定はできないが、ダストジャケットが68点（うち中国語26点、イタリア語20点）と4割強に見られた一方、帯は1点にしか見られなかった。ソフトカバーにもダストジャケットを付ける習慣や帯はマンガに限らず、日本独特のものと指摘されているものの、ダストジャケットという日本のマンガの特徴を再現する場合が一定程度あることが確認できた。

#### 4. 予備的調査から本調査へ

前項で指摘した点以外でも同一作品であっても

判型が異なる場合もあるなど、想像以上に細かい差異があることが明らかとなった。これらの点から日本マンガの受容の様相を把握するために書誌学的な部分について多くのポイントに着目した調査が必要であることを確認できた。

今後、調査項目は省略せず、簡便な入力方法を工夫し、量的な分析にも対応できるものにしたい。

#### 5. 謝辞

調査にご協力いただき、さらに京都国際マンガミュージアムマンガ万博の資料リストを提供していただいた京都国際マンガミュージアムのみなさま、特に研究閲覧室司書の渡邊朝子氏に厚く御礼申し上げます。また、京都精華大学国際マンガ研究センター研究員でもある雑賀忠宏氏にも日本マンガの海外での普及動向についてご示唆いただきありがとうございます。東京大学大学院経済学研究科・経済学部資料室の森脇優紀氏にも翻訳版マンガ2点の貸与について感謝いたします。

本研究は科研費18K11996の助成を受けました。

#### 【注・引用文献】

- 1) (日本) マンガの定義は厳密には難しいが、ここでは、画像のコマが連続しているもの(Wikipedia 英語版 comics の項目)で、日本人によって執筆されているか、オリジナルが日本の出版社によって刊行されているのかいずれかもしくは双方を満たすものとする。
- 2) 大谷康晴, 安形輝, 江藤正己, 杉江典子, 安形麻理. 海外図書館の大規模所蔵調査に基づく日本文化としてのマンガ受容に関する総合的研究. <https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-18K11996/> (URL 確認 2019年10月13日)
- 3) 松井剛. アメリカに日本のマンガを輸出する: ポップカルチャーのグローバル・マーケティング. 東京, 有斐閣, 286p, 2019
- 4) 3), 参照は p.92.
- 5) マンガ資料 | 京都国際マンガミュージアム. <https://www.kyotomm.jp/material/manga/> (URL 確認 2019年10月13日)
- 6) 小学館集英社プロダクション. 沿革 | 企業情報 | 小学館集英社プロダクション. <http://www.shopro.co.jp/corporate/history/> (URL 確認 2019年10月13日)
- 7) 現在の ISBN は 978 ないし 979 から開始しているが、一部地域では商品としての書籍コードが 978 から開始している場合があり、紛らわしい状態になっている。

表 3 翻訳版の書誌学的な調査項目

項目番号	項目名	備考
1	タイムスタンプ	フォームデータ送信時刻を自動入力
2	作業者イニシャル	作業者氏名を記録
3	資料ID	京都国際マンガミュージアムの資料リスト中のID
4	ISBN	京都国際マンガミュージアムのリストに記載がある場合は入力不要
5	翻訳版のタイトル	翻訳版のタイトルのうち、最初の数語
6	言語	翻訳に使用されている言語
7	日本語単行本との1対1対応	日本語版の合冊や分冊、あるいは翻訳版独自のアンソロジーになっているか
8	製本の種類	いわゆるハードカバー-ソフトカバーかを回答
9	物理的な大きさ：縦	ミリ単位で数値のみ入力（目録の場合、センチ単位のため）
10	物理的な大きさ：横	ミリ単位で数値のみ入力（目録の場合、センチ単位のため）
11	ダストジャケット	ダストジャケットの有無
12	本体の表紙にある要素	表紙に以下の要素がある場合可能な限り列挙する（複数回答あり、イラストは除く）。タイトル、著者名、出版者名、出版年、ISBN、バーコード、文章（内容説明や惹句）、価格、その他。可能なら写真を撮影
13	本体の裏表紙にある要素	裏表紙に以下の要素がある場合可能な限り列挙する（複数回答あり、イラストは除く）。タイトル、著者名、出版者名、出版年、ISBN、バーコード、文章（内容説明や惹句）、価格、表紙と同じデザインかどうか、その他。可能なら写真を撮影
14	背表紙の文字	上から表記されているか、下から表記されているか
15	背表紙のイラスト	1)表紙・裏表紙のイラストの一部、2)1)と異なるイラスト、3)2)の中で、特に前後の巻と連続するイラストの一部となっているか、4)イラストはない
16	表見返し／表表紙の裏	表見返しや表表紙の裏のマンガの広告の有無
17	前問で「マンガの広告あり」の場合のタイトル、著者名	上記16で何らかのマンガの広告がある場合の掲載されている作品のタイトル・著者を記入
18	裏見返し／裏表紙の裏	裏見返しや裏表紙の裏のマンガの広告の有無
19	前問で「マンガの広告あり」の場合のタイトル、著者名	上記18で何らかのマンガの広告がある場合の掲載されている作品のタイトル・著者を記入
20	本の開き方	右開きか左開きかを回答
21	遊び紙	遊び紙（何も印刷されていない紙、本文紙とは色が違う）の有無
22	読み方のガイダンス	ページ内のコマ（吹き出しを含む場合もある）の読み方のガイダンスの有無
23	オノマトペの表記	冒頭の1話と最終話の最後4ページを対象に、オノマトペについて翻訳、日本語ローマ字表記、日本語に翻訳のルビ、日本語のまま、調査対象範囲では確認できない、その他のいずれかを回答
24	オノマトペ以外の文字表記	冒頭の1話と最終話の最後4ページを対象に、オノマトペ以外の文字表記（背景の看板等）について翻訳、日本語ローマ字表記、日本語に翻訳のルビ、日本語のまま、調査対象範囲では確認できない、その他のいずれかを回答
25	奥付・刊記の位置	表紙と一緒に刊記がある、表紙裏に刊記がある、奥付がある、その他のいずれかを回答
26	注釈	作品に関連した、独立した注釈のページが用意されている、ページの余白部分に注釈が用意されている、注釈が特に用意されていないのいずれかを回答
27	解説	日本人による解説（日本語版との異同を後日調査）、外国人による解説、なしのいずれかを回答
28	作品以外の要素（見返しにあった場合は入力不要）	冊子体部分について作品以外のコンテンツについて以下の要素を可能な限り列挙する（複数回答可）。日本語の読者からのおたより・投稿、その国の読者からのおたより・投稿、日本語版の表紙、日本のマンガ（日本のマンガの外国語版）の広告、外国のマンガの広告、別表紙、その他、なし
29	レーティング	レーティングあり、ゆるやかな対象年齢の記載あり、なしのいずれかを回答
30	レーティングがある場合の表示箇所	表紙、裏表紙、その他のいずれかを回答
31	自由記述欄	自由記述
32	写真	写真撮影を行った場合の写真に関して記述する